

ふじさん

fujijoho group monthly magazine

平成29年指針

富士情報

賢守智略

[今月のひとこと]

PPAP

- ・会議室・応接室を移設～八王子事業所
- ・恒例の新年会を開催



冬の大石公園（富士河口湖町・大石）

写真提供：富士河口湖町 観光課



今月のひとこと

PPAP

社長 渡辺直企

ピコ太郎の『ペンパイナッポーアッポーペン』(PPAP)を歌う動画の再生回数が1億回を超えるなど話題になりました。乗りの良いリズムと、耳に残るペンパイナッポーアッポーペンというフレーズが非常に印象的でした。PPAPは多くの人が踊りをまねてYoutubeにアップロードしていて、トランプ大統領の孫娘アラベラローズちゃんも動画をアップロードしています。なんでこんなに印象に残るのか非常に気になっていました。

11世紀のペルシアにウマル・ハイヤームという詩人がいたそうです。この詩人は「ルバイヤート」という詩集を作りました。この詩集は4行詩という詩の形式を使用しています。これは4行の詩で構成され、行末の韻の踏み方が決められています。そしてルバイヤートで使われている韻の形式が「aaba」だそうです。まさにペンパイナッポーアッポーペンと同じです。これを知ったとき、PPAPが広まったのはオリジナリティもありますが、もともと共感できるポイント「aaba」をついているのであんなに耳に残り、多くの人を楽しめたのだと理解しました。ウマル・ハイヤームは詩人ですが、数学者でもあり天文学者でもあります。数学では三次方程式を幾何学的に解く方法を提示しました、三次方程式を代数的に解いたのは16世紀のヨーロッパでした。また天文に関する高度な精度で1年の長さを観測し5000年に1日の誤差という非常に高い精度の暦法です。一方、現在我々が使用しているグレゴリオ暦は1582年に制定され3330年に1日の誤差という精度です。

このハイヤームの国ペルシアは現在のイランに当たります。先日アメリカ大統領令で入国が禁じられた国の一つがイランです。この大統領令にはシリコンバレーを中心とするIT企業が異を唱えています。この乱暴な大統領令がIT企業にとって非常に重い足かせになるだけでなく、結果としてアメリカの国力をそぐことになるのは火を見るよりも明らかです。

我々は世界のどこかで先人が築いた知識、知恵を活用し社会を進歩させています。近頃〇×△ファーストというフレーズをよく耳にしますが、絶対的に優位な人、集団はありません。互いに依存し、共楽しています。今年の年頭に「三方よし」を取り上げましたが、この観点からは違和感を感じます。〇×△ファーストは分かりやすい概念ですが非常に難しい考えだと思います。

山梨の丸藤葡萄酒工業株式会社にはルバイヤートという名前のワインがあります。この詩集から名前を取ったそうです。当社の40周年の記念に使った2種類のワインのうちの一つです。

○会議室・応接室を移設～八王子事業所

12月号社内報に掲載されたとおり、八王子事業所3階の大会議室等をコールセンター業務室に変更したため、1月より三井生命八王子ビル2階(110㎡)に大会議室、小会議室、応接室を移設置しました。以前より広いスペースが確保できましたので、余裕のある配置ができました。



大会議室

恒例の新年会を開催

本年も1月20日に八王子で新年会を開催しました。会場は、ここ数年毎年お世話になっている「GLOBE」でした。

来年度入社予定の内定者を含む66名の方が参加し、新年の挨拶とともに、久しぶりに顔を合わせる他部署のメンバーとの交流を楽しみました。

渡辺社長のお話、小坂専務の乾杯の音頭で宴が始まり、宴の途中で、システム事業部の今年度新入社員と来年度内定者の紹介があり、新入社員の成長している姿と、内定者のフレッシュな姿に刺激を受けました。

恒例となったビンゴ大会では、今年も豪華な景品の数々と、丸久賞のお肉は特別に4つご提供いただきましたので、いつにも増して本気でビンゴゲームに取り組んでいるようでした。

最後に渡辺社長が当てた「人生ゲーム」は、ジャンケンでの争奪戦・・・と思いきや、社長のジャンケンが強すぎて、何度仕切り直しても社長の1人勝ちで社員は全滅。結局社長にお持ち帰りいただくこととなりました（皆、納得の結果となりました）。

今回も、ゲームの司会は、新規事業推進部の吉松さんに務めていただき、大いに盛り上がりました。

あっという間に時間は過ぎ、外川常務に締めてください無事閉会いたしました。

本年も、皆様のご協力のおかげで充実した新



社長あいさつ



話を聞く参加者



社長とジャンケン

年会となったと思います。

お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございました。

(システム(事) 第2グループ 仲野 智一)

今月の表紙

～冬の大石公園～

河口湖の北側は湖を挟んで富士山を眺めることができ、春は桜、秋には紅葉のイベントも開催されるので、写真愛好家の方々にも親しまれています。

大石公園は富士山と湖とラベンダーの景色が有名で、6～7月に行われるハーブフェスティバルのサブ会場に

もなります。園内にはブルーベリー拠点の「河口湖自然生活館」もあり、河口湖北岸の人気スポットのひとつです。

表紙の写真の一面に並んでいる雪のコブの下にはラベンダーがあります。これが咲きそろったときの風景を想像してみてください。



早いもので、あと1か月で年度末を迎えようとしています。今年もMVP賞の獲得に向け、現在丸久全員で新規お客様の獲得に取り組んでおります。年度末までわずかな時間となりましたが、自動車保険だけでなく、生命保険の見直し等もさせていただきます。なかでも学資保険、終身保険等の貯蓄型を新規でご加入の場合、4月以降は料率改定で保険料の負担増になります。現在ご検討の方はもちろん、これから検討されたい方がいましたら、お気軽に丸久までご相談ください。

保険のお問い合わせは 丸久へ 電話：0555-24-2341 メール：marukyu@ag.sjnk.co.jp



私の趣味
No.449

ロゲイニング

阿部昌隆

ロゲイニングは、地図をもとに時間内にチェックポイントを回り得点を集めるスポーツです。発祥の地オーストラリアでは広大な山野で12時間や24時間かけて行われることが多いようですが、日本では5時間や3時間が一般的で、競技エリアも市街地で行われることが珍しくありません。特に最近では、地域振興を目的として、地元の名所や名店などを回り写真を撮るフォトロゲイニングの大会が増えていきます。



フォトログ富士吉田のスタート前
(左：筆者 右：渡邊邦夫さん)

競技は一人で参加できる大会もありますがチーム戦が基本で、参加者は若者グループから年配の夫婦、子供連れのファミリーまで多彩です。どのように回れば高得点が得られるか、スタート前のチームでの作戦タイムも楽しさの一つです。

走ることと地図を読むのが好きな私は、観光・グルメ・温泉なども一緒に楽しめるこのスポーツが好きで、旅行を兼ねて月に1～2回、各地の大会に参加しています。

山梨県で行われる大会では、大月社会保険委員会で知り合った渡邊邦夫さんとチームを組むことが多く、今年度は6月の富士吉田市、10月の甲州市、1月の笛吹市での大会に二人で参加しました。

「フォトロゲイニングNIPPON富士吉田」では吉田のうどんのお店をいくつもチェックし、「笛吹市 温泉とワイン満喫フォトログ」では競技中にチェックポイントのワイナリーで買い物をしたり、甲州カステラを頬張ったり、足湯に浸かったりと、文字通り笛吹市を満喫しました。

昨年は3月に開催された主催者の「おもてなし」がとても嬉しい南アルプス市での大会。今年は9月の葡萄の収穫期に予定されているようで、こちらも今から楽しみです。

私は昨年4月に60歳になりましたが、いつまでもこのスポーツを続けることで、持論の「健康で長生きすることが年金で一番得する方法」を体現したいと思っています。

(大月年金事務所 所長)